

麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会会議録

会 議 名	第 1 回麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和 3 年 4 月 6 日（火） 午前 1 0 時 5 5 分から午前 1 1 時 4 0 分まで
開 催 場 所	港区役所 2 階芝地区総合支所会議室
委 員	出席者 7 名 岡本委員長、大淵委員、松浦委員、師岡委員、 冨田麻布地区総合支所長、白井赤坂地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長 ※岡本委員長、大淵委員、松浦委員、師岡委員はリモートによる出席 欠席者 なし
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 麻布地区総合支所管理課施設運営担当係長 麻布地区総合支所管理課管理係担当者
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 委員長、副委員長選出 5 議題審議について （1）公募要項について （2）第一次及び第二次審査（審査方法、選考基準）について 6 今後のスケジュールについて
配 付 資 料	資料 1 麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料 2 麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会委員名簿 資料 3 麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者公募要項（案） 資料 3-2 業務基準書等公募に係る関連資料（案） 資料 4 第一次・第二次審査の進め方（案） 資料 5 麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料 6 麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考 第二次審査選考基準・採点表（案） 資料 7 館だより 資料 8 選考スケジュール（案）

会議の結果及び主要な発言	
	1 開会、挨拶 (麻布地区総合支所長挨拶) 2 委員委嘱 (委嘱状の交付) 3 委員の紹介 (全委員自己紹介) 4 委員長選出
事務局	互選により、岡本委員を委員長として推薦します。
全委員	異議なし
委員長	副委員長は、要綱第5条第3項の規定により、富田委員を選任します。
	5 議題審議について (1) 公募要項について
事務局	・公募要項(案)の説明
委員長	公募要項案に関して、何かご意見ありますか。
E委員	麻布地区の特色として大使館が多いということなどを挙げていましたが、外国籍の方や海外との行き来ある方と接触している方が利用されているなど、他地区に比べて新型コロナウイルスに関する感染のリスクが高い状況があるのでしょうか。
事務局	他の地域に比べて、感染リスクの高い利用者が特段多いという状況はありません。いずれの施設においても感染リスクはありますので、感染防止対策に取り組んでまいります。
C委員	ひとり暮らしの高齢者は孤立しがちになるという特性があります。ひとり暮らしの高齢者に対して声かけを行うなどの配慮を、要項の中に盛り込むよう提案します。
事務局	ご提案いただいた内容を要項へ盛り込みます。
A委員	麻布いきいきプラザは令和6年に新しく移転するとのことですが、応募事業者は資金収支計画等をどのように算定することになっていますか。
事務局	指定管理料は、現状の仮施設で5年間運営する場合を想定してご提案いただきます。施設の詳細が固まった段階で、新施設での運営に必要な指定管理料を再度見積もり、

	協議のうえ協定の内容を変更します。
C委員	介護予防事業と保健事業の一体実施ということが課題になっています。その主眼は、保健所と介護予防施設の情報共有です。いきいきプラザは新たな窓口として、新しい機能が必要になるので、その旨を追記したほうがよいと思います。
G委員	保健事業と介護予防の一体的な実施について、国からも言われています。 厚生労働省から指針が示されている中で、現在、区でどのように実施していくかを検討しております。
事務局	公募要項に追加できるか検討します。
C委員	港区は、フレイルいわゆる老年症候群に関するデータを把握されています。そのデータを共有することで、孤立しがちな一人暮らしの方々のフレイル予防につなげることができると思います。港区が把握しているデータを活用できるようにご配慮いただきたいです。
事務局	ご意見を踏まえて、検討します。
A委員	南麻布いきいきプラザは、竣工から30年以上経っています。港区では、施設の改修を計画的に行うプロジェクトがあると伺いましたが、南麻布いきいきプラザはその計画に入っていますか。
事務局	港区では、「港区公共施設マネジメント計画」に沿って、区有施設の改修を行っています。南麻布いきいきプラザもこの計画の中に含まれています。
事務局	(2) 第1次及び第2次審査（審査方法、審査基準）について ・第1次及び第2次審査基準（案）の説明
委員長	第1次・第2次審査方法、選考基準・採点表について、何かご意見ありますか。
E委員	類似施設の管理運営経験がない事業者の応募があった場合は、どのような対応をするのでしょうか。
事務局	応募資格の一つとして、類似施設の管理運営実績があることと表記しています。 よって、経験がない事業者は、応募資格がないこととなります。
E委員	喫茶事業に関する取組を審査するにあたり、基準になるような方針があったら教えてください。
事務局	特に指針はありません。資料9に喫茶コーナーの概要を示していますので、その内容を参考にして、提出されたアイデアを総合的に判断いただきます。

C委員	個人情報保護の重要性を理解した適切な取組についての項目ですが、現在、個人情報保護の認証機関からの認証があると思います。そのような認証を取得している場合には、明記するように、様式の中に入れていただきたいです。
事務局	様式15に追記します。
A委員	浴場の利用について、全部中止してしまうと、いきいきプラザのお風呂だけを頼りにしている利用者は大変だと思います。 現状下で、どのように実施していますか。
事務局	令和2年4月から5月までの非常事態宣言時には、すべてのいきいきプラザで浴場利用を中止していました。現在は、利用人数の制限や備品の消毒などの感染防止対策を徹底したうえで実施しています。
事務局	6 今後のスケジュールについて ・資料8 麻布地区いきいきプラザ指定管理者候補者選考スケジュール（予定）を説明
委員長	全体のスケジュールをご説明いただきました。この予定でよろしいですか。
全委員	はい。
委員長	それでは、麻布地区の審議は、以上になります。 4地区の審議で出た共通事項についての修正や意見については、4地区で共有し、募集要項等に反映していただいてもよろしいでしょうか。
事務局	承知しました。 7 閉会 本日の委員会は、以上をもって閉会します。

会 議 名	第2回麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年6月22日（火） 午前10時55分から午前11時40分まで
開 催 場 所	港区役所2階芝地区総合支所会議室
委 員	出席者 7名 岡本委員長、大淵委員、松浦委員、師岡委員、 冨田麻布地区総合支所長、白井赤坂地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長 ※岡本委員長、大淵委員、松浦委員、師岡委員はリモートによる出席 欠席者 なし
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 麻布地区総合支所管理課施設運営担当係長 麻布地区総合支所管理課管理係担当者
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開 会 2 財務状況等分析結果について（公認会計士・坂本 亮氏） 3 議題審議 議題1 第一次審査（書類審査）通過事業者の決定について 議題2 第二次審査の方法について （1）プレゼンテーションについて （2）追加要望資料の有無について 4 今後のスケジュールについて 5 閉 会
配 付 資 料	資料1 財務状況分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査（書類審査）集計表 資料4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）審査表 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について 資料6 第1回麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
公認会計士	1 開会、挨拶 2 公認会計士からの財務状況分析結果報告 【財務状況分析（可・不可評価）】 事業者A-1：「可」 事業者A-2：「可」 【資金計画分析（A～E評価）】

事務局	事業者A：「A」 様式12「資金・収支計画書」に誤りがありました。 5年間の収入金額と、令和6・7年度の人件費のうち交通費の金額を、様式に転記する際に誤って記載してしまったため、修正させていただきたいと思います。 なお、指定管理料については、変更はありません。
委員長	それでは、財務状況等分析結果のご報告について、質疑応答に入ります。
A委員	資金・収支計画書の誤りについて、どのように考えればよろしいでしょうか。
公認会計士	資金計画分析については、正しいものを前提として評価を行いました。 金額をきちんと確認してほしいとは思いますが、この点については様々な考え方があると思います。
C委員	今年はコロナ禍ということもあり、確認作業が十分でなかったのではないかと思います。この点については、あまり重視しなくてもよいのではないのでしょうか。
委員長	わかりました。今後、注意していただきたいと思います。 他にご意見ございますか。なければ、財務状況等分析結果の質疑応答を終了します。
	3 議題の審議 議題1 第一次審査通過者の決定について
事務局	第一次審査結果の説明 ・事業者Aは、1400点満点中1065点で、76.1%を獲得しています。
委員長	それでは、第一次審査について審議いたします。 まず、採点の結果について各委員から講評をお願いします。
C委員	3①類似事業における管理運営の実績について、実績が豊富にあるため10点としました。 4①経験豊かで実績がある施設長が配置される計画について、経歴を拝見すると期間中に60歳を超える施設長予定者が多いと思い、4点としました。 4⑨職員体制・勤務体系についての項目は、非正規の職員が多く、正規・非正規の割合が変わるとよいと思い、2点としました。 7②令和4年度受託経費が適正かという項目については、非常勤の専門職等が多く、処遇もよくないと思われるため、職員を大切にしてほしいと考えて、2点としました。 全般を通してよく書かれており、印象はよかったです。
D委員	私は4点を基本に評価しました。 4①施設長の経歴について、統括責任者は1年程度の経験しかないという点を考慮し、3点としました。 次に、5の地域との拠点としての計画性の①麻布地区の特性という項目について、国

	際性や坂が多い地形等を考慮した企画をしていること、高齢者のニーズを掘り起こしていることを評価して、10点としました。 さらに、②高齢者のいきがいくりの項目について、仕事を持つ人の参加を促す工夫をしている点の評価しました。 また、⑥災害時の取組については、災害時対応の研修の全職員への実施やBCPに基づく職員の参集体制、しっかりした法人のバックアップを評価しました。 人件費について、4点としていますが、C委員と同様に専門職の処遇が良くないと感じました。
E 委員	私は3点を基準として判断しました。 4①経験豊かで実績がある施設長が配置される計画となっているかという項目について、応募資料では判断できないと感じました。 大部分が黒塗りとなっており、高齢者のレクリエーションや介護予防健康づくりにどの程度関わってきたのか、実績を積んだ職員なのかということがわからないと思ったため、2点と評価しました。 次に、5②高齢者のいきがいくりや学びの場の提供という項目については、高齢者にスマートフォンをどう活用してもらうか、ICTをどうするのかということについて、意欲的に書かれていたため、8点としました。 5③介護予防や健康づくりの場の提供という項目について、情報発信の工夫や事業に参加していない人に対する働きかけという点で意欲的だったため、8点としました。 5④のふれあい、コミュニティ活動の場の提供という項目について、研究論文で高齢者の脳活に非常に有効だといわれているeスポーツ・ゲームを積極的に取り入れる姿勢を評価して8点としました。 続いて、6①提案事業計画について、ICT教室の強化や、地域との交流について具体的に書かれていたため、8点としました。 6②自主事業について、利用者還元や地元とのタイアップについて具体性があったため、4点としました。 8指定管理者としての抱負という項目では、生きがいややりがいを強調しながら、踏み込んだ文章になっていたため、4点としました。
F 委員	3管理運営実績について、安定した運営実績があり、運営と維持管理をそれぞれ専門とする事業者の共同事業体であるため、安定した管理運営が見込めると思い、高く評価しました。 また、4管理運営計画のうち⑧感染症予防に関する取組については、区が求める水準を超えていることが読み取れました。 さらに、事業者独自の取組も示している点の評価しました。 次に、5①事業計画の地域特性という項目については、麻布地区の国際色豊かな地域特性や坂が多い地形、伝統のある歴史等を理解していることが読み取れます。 そして、その特色を生かしながら、スマートフォンの活用を取り入れることで、高齢者のデジタル化への対応という社会的な課題に対応する事業を組み入れる工夫をしている点を高く評価しました。 最後に、10の区内中小企業の活用や、11の高齢者や障害者の活用促進については、それぞれ実績が高いと考え、どちらの項目も5点としました。

G委員	全体として、区が指定管理者に求める内容を理解している提案だと考えています。 4 管理運営計画については、特に人材育成について、職員のレベルや役職、専門性に合った研修制度が充実していると思いました。 また、感染症対策については、日常的な衛生管理から発生時の対応、業務継続まで具体的な取組が示されているため、8点としました。 一方で、職員の配置については、正規職員の割合が低く、質の高いサービスを提供する上でやや不安があったため、低く評価しました。 次に、事業の提案については、高齢者がいきいきプラザへの教室の参加をきっかけとして自主的なグループ形成に繋がる支援まで示されている点、介護予防事業に参加したことがない人を取り込むための工夫、自主活動グループの相談会の実施等の支援について具体的な取組が示されている点を評価しました。 最後に、ICTの活用という点では、考え方については示されていましたが、具体的な事業の内容、名称についての言及がなく、より具体的な内容が欲しいと思いました。 全体として、いきいきプラザの事業に対する理解度や、施設の安全管理、事業内容も含めて、施設を安定して運営できるレベルだと感じました。
B委員	4 管理運営計画に関する項目のうち、⑧感染予防に関する取組が適切かという項目について、ハード整備に関しては空気清浄機等の配慮があった一方で、ソフト面に関して、もっと提案していただきたいと思いました。 ⑩いきいきプラザの運営に対する基本的な考え方について、防犯や防災に関しては、麻布警察や麻布消防署の協力を求めている点を評価しました。 続いて、5の地域の拠点としての計画性について、①麻布地区の特性という項目では、坂めぐりのイベントや、警察・消防との連携等の提案が非常に良いと思いました。 最後に、6効率的で質の高いサービスの提供という項目について、①提案事業として、パソコンが使えない多くの高齢者のための ICT 教室強化や、ありすの庭の活用・EMSTレーニング等の珍しい取組の提案があったため、高い評価としました。 総じて、指定管理者としては適切だと考えています。
A委員	全体的には、よく書かれていると思いました。 4 ⑨職員体制について、経験豊かな職員を施設長として配置していることを高く評価しました。 ICTの強化ということについては、良い点だと思いました。 5 ⑦喫茶事業に関する項目について、シルバー人材を活用して一定の味を保証するために、非常に考えられている点但也有ありますが、特徴があるものを提供する工夫をしてほしいと考え、2点としました。 5 ④ふれあい、コミュニティの活動の場については、提案としては非常によいのですが、具体的なことが書かれてなかったことが気になりました。 5 ②高齢者のいきがいきづくり学びの場について、仕事を持つ高齢者にも対応するプログラムを評価して10点としました。
委員長	その他、採点内容についてご意見、ご質問はありませんか。 各委員会からの意見を受けて、点数を修正される委員はいらっしゃいますか。

	修正の希望がないようなので、事務局から改めて採点結果の発表をお願いします。
事務局	それでは、改めて採点結果を発表します。事業者Aの合計評価点は、1400点満点中1065点で、得点率は76.1%です。
委員長	それでは、今の点数を受けまして、第一次審査の点数を確定します。 続きまして、第一次審査通過者を決定したいと思いますが、ご意見はありますか。 ないようなので、第一次審査通過事業者は、事業者Aに決定します。
	議題2 第二次審査について
事務局	第二次審査について説明 「第二次審査について」の審議内容については、芝地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会でご審議いただいた次の5点の内容を共有したいと考えています。 ・出席者は4人以内とし、統括施設長予定者と各法人の説明者1人ずつは必ず出席すること ・プレゼンテーションは、プロジェクターを用いて実施すること ・プレゼンターは統括施設長予定者とする ・追加資料は、A3片面1枚程度を作成すること ・様式13は、各館施設長予定者全員分を提出すること
委員長	ありがとうございます。その内容でよいと思います。 他にご意見はありますか。
E委員	様式13は、経歴だけではなく、いきいきプラザの管理運営に関わる業務にどの程度どのように関わってきたのか、具体的にわかるよう作り変えていただきたいです。 港区の施設に適合する仕事にどの程度携わってきたかについて、事業者へ資料を提出するよう求めてください。
事務局	改めて追加資料を提出するよう事業者に求めます。
C委員	定年前の職員をいきいきプラザの施設長予定者に起用している印象があります。 キャリアパスとして、「最後の職場」という考えでいきいきプラザの施設長を務められては困ります。 生き生きとした施設にするために、「この人たちが必要なんだ」という理由やその基本的な考え方を説明する資料をいただきたいです。 さらに、専門職の活用が非常に重要なため、なぜ専門職の職員が非常勤なのかということについて、理由書をいただいた方がよいと思います。
事務局	いただいたご意見のとおり、専門職の職員配置についてどのように考えているのかということの資料を事業者に提出するよう求めます。

事務局	4 今後のスケジュールについて 次回第3回選考委員会は6月29日（火）午前10時50分から参集で開催します。第二次審査として、プレゼンテーションとヒアリングを行い、指定管理者候補者を決定します。
委員長	第二次審査のスケジュールをご説明いただきました。この予定でよろしいですか。
全委員	はい。
委員長	それでは、麻布地区の審議は、以上になります。 4地区の審議で出た共通事項の意見については、4地区で共有してください。
事務局	承知しました。
委員長	5 閉会 本日の委員会は、以上をもって閉会します。

会 議 名	第3回麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年6月29日（火） 午前10時40分から午後0時10分まで
開 催 場 所	港区役所9階915会議室
委 員	出席者 7名 岡本委員長、大淵委員、松浦委員、師岡委員、 冨田麻布地区総合支所長、白井赤坂地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長 ※師岡委員はリモートによる出席 欠席者 なし
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 麻布地区総合支所管理課施設運営担当係長 麻布地区総合支所管理課管理係担当者
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について 議題2 指定管理者候補者の選考結果について 3 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）選考基準・採点表 資料2 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料3 第2回麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者選考委員会 会議録 参考資料 第一次審査採点集計表
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会、挨拶 2 議題の審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について （事業者Aによるプレゼンテーション） それでは、質疑に入ります。
C委員	施設長予定者等について、任期中に60歳を超える職員が多いと感じました。 ステップアップの道がないために、施設長のやる気がなくなってしまうのではないか

	という懸念があります。 この点について、資料をご提出いただきましたが、再度、考えをお聞かせください。 また、介護予防事業等を実施するにあたり、専門職の活用は非常に重要だと思います。 非常勤という自由な働き方を選択する職員を採用するだけでは、組織体制として不十分なのではないかと思いますが、御社として専門職の職員を積極的にどのように活用していくのかということについて、考えをお聞かせください。
事業者A-1	年齢が高い職員を起用するメリットは、多数あると思っています。 例えば、年齢が近いために、高齢の利用者や地域の町会や老人クラブの方々により安心感を持っていただけるというメリットがあると思います。 また、弊社には専門職のコースと管理職のコースがあり、お客様と接することができる現場を希望する職員もいるため、施設長のやる気がなくなることではないと考えています。 続いて、専門職の活用について、弊社には、常勤での雇用を望む職員向けの制度を設けています。 職員がやる気を持って働けるように、業務体制だけではなく、賃金等の待遇面も含めて労働環境を整えていきたいと思っています。
D委員	高齢者の中には、スポーツが得意な人だけでなく、スポーツに興味がない人も多いと思います。 いきいきプラザへ行くことが難しい人や今までスポーツに縁のなかった人の参加を促すために、何か工夫は考えていますか。 次に、広報活動以外に直接働きかける方法をどのように考えているのか、また、EMSトレーニングの対象者をどのように考えているのかを伺いたと思います。 最後に、BCP計画や計画に沿った対応、職員への周知について、どのように考えているのかをお聞かせください。
事業者A-1	スポーツに興味のない方には、文化系教室に参加していただくことを考えています。 広報みなと以外の情報発信として、ポスティングや、コロナ禍収束後には訪問を考えています。 さらに、SNSを使って家族向けにPRすることで、家族から参加を促していただくという取組を考えています。 次に、EMSトレーニングについては、利用者の中で今後の体力が心配な方を対象として考えています。 3年後には、団塊の世代が全員、後期高齢者となることを考慮して、トレーニングのレベルを考えていく必要性を感じたため、利用者がEMSトレーニングによって、ずっと体力を維持していけるような事業を考えています。 最後に、BCPについて、災害時にはまず職員及び家族の安否確認が第1に大事だと考えています。 BCPには、職員が何分で施設にたどり着けるかのシミュレーションや区民避難所開設の仕方、住民の受入、関係各所との連絡・連携、地区のインフラの状態、施設の損壊状況による復旧目途等を記載しています。 また、いきいきプラザは区民避難所に指定されているため、構成企業にもご助力いた

	だいて、人員の確保をします。
F 委員	共同事業体として管理運営をする理由をお聞かせください。 また、ICTの活用を提案していますが、具体的にどのように高齢者にアプローチしていくのかを教えてください。
事業者A-1	共同事業体を組んだ理由・メリットについて、単独で指定管理者を務める場合、構成企業の職員は派遣職員として勤務するため、施設管理についての港区からの指示を派遣元のビル管理事業者等へ直接受け取ることができず、間接的に、代表企業職員が指示を出すことになります。 しかし、大きな災害や問題が発生したときには、できる限りスピーディーに対応する必要があります。 そこで、共同事業体を組み、構成企業の職員が直接対応することでスピードアップを図りたいと考えています。 さらに、構成企業は港区内に管理センターを持っており、より早く、より多くの人間を投入することができるため、非常時の対応力は増すと考えています。 次に、ICTの具体的な活用について、情報格差を解消することで、高齢者の生活をより豊かすることができると考えています。 現在のコロナ禍では、遠方にご家族がいる場合、全くコミュニケーションがとれていない状況にあると思います。 そこで、スマホ教室でグループライン等の使い方を習得することができれば、遠方の家族と顔を見て会話することが可能になります。 他には、カメラ機能を使って撮った写真のほのぼの作品展への出展や、電子決済アプリを利用してキャッシュレス化することで、ひったくり等の被害に遭う恐れが減るといった効果や、地図アプリを利用することで、迷子にならずに移動できるようになるという効果が期待できます。 このような内容を、教室事業に組み込んでいきたいと考えています。
G 委員	ICTの活用について、利用者のICTデジタル機器の利用や活用支援の提案がありましたが、施設で提供する事業においてICT活用という点で具体的な提案があるのか教えてください。 また、自主活動グループの支援について、活動内容や成果の見える化という提案がありましたが、どのようなことを考えているのか具体的にお聞かせください。
事業者A-1	まず、ICTの活用について、現状では、対面でのやりとりを心配されている方々に対して、ICTを活用して事業を提供するということを考えています。 次に、自主活動グループの支援について、グループで活動している方々を一堂に会して情報共有できる場を設けていこうと考えています。 各々で活動されているグループで、横の繋がりを持っている方は少ないと思います。 他の自主活動グループの活動内容を情報共有することで、様々な発展に繋げることができると考えています。
E 委員	EMSトレーニングは、効果を得るためには週3日以上トレーニングが必要です。

	グループづくりや達成目標の設定等、成果を感じられる仕組みや、週3日以上トレーニングに通ってもらえるようなアイデアが具体的にあれば、教えてください。 また、EMSトレーニングの安全性は様々な論文からもわかっていますが、使用中に違和感があつたときには、ケアすることが大切だと思います。 次に、ICTの活用について、高齢者は機械の操作をなかなか覚えられません。 そこで、うまくいかないときに、すぐに横で教えられる人が必要だと思います。 困ったときにケアできる仕組み、施設で体験を重ねて少しずつ覚えてもらうという流れをつくる仕組みについて、どのように考えているのかお聞かせください。 最後に、大学生講師を活用するという提案について、ICTについては、大学生の常識と高齢者の常識が大きく異なるため、高齢者が機械をうまく操作できないときに丁寧なフォローができるよう、大学生を教育する必要があると思いますが、何か工夫は考えていますか。
事業者A-1	EMSトレーニングに関して、週3回以上習慣的に来ていただくためには、できるだけ効果を実感していただくことが必要だと思っています。 「やればやるほど、たくさん歩くことができる」と感じることで、より頑張ることができるのだと思います。 いきいきプラザへ行く習慣のある利用者は、週3日以上の利用を実現できると思いますが、いきいきプラザへ通うことが難しくなってしまった方々を救っていくために、訪問して参加を促していく必要は生じるのではないかと考えています。 訪問については、状況を鑑みて港区の所管課と相談しながら、取り組んでいきます。 続いて、ICTの活用に関連して、例えば、ZOOMを使ったオンライン運動教室を様々な自治体で実施しています。 そこで、ある高齢者がどうしても音声の設定ができず、電話でサポートしながら設定するというのを10回程繰り返しましたが、11回目からご自身で設定できるようになったということがあります。この経験から、高齢者は覚えられないということではなく、覚えるのに時間がかかるのだと考えています。 教室のように来所していただく事業では、わからないときにすぐサポートできる職員を置き、横でしっかりとサポートします。 最後に、大学生の活用について、大学生に対する教育研修をしっかりと行った上で、徐々に慣れていただくことを考えています。
B委員	麻布地区には、保育園や子ども中高生プラザ等と併設している複合施設がありますが、その効果的な運営について配慮することがあれば、教えてください。 また、人気がある教室、ない教室をスクラップアンドビルドしていくために、工夫する点を教えていただければと思います。
事業者A-1	まず、複合施設を効果的に運営するために、相互の交流を積極的に推進していきたいと考えています。 例えば、稽古の成果発表の場である演芸会に、保育園の子どもたちを招待し、歌や踊りを発表してもらい、世代間交流を図るという事業を考えています。 他には、園児の卒園時に、折り紙で作った大きな壁画をプレゼントするという事業を考えています。

A委員	壁画が段々と完成していく様子を見ること、完成した壁画を園児にプレゼントし、喜んでもらうということを通して、高齢者に喜んでいただけていると思っています。 次に、いきいき教室のスクラップアンドビルドについては、情報収集をしながら、時代やニーズの変化とともに、内容の変更や新たな教室の追加を検討していきたいと考えています。 構成企業として共同事業体で管理運営するにあたり、単独事業者へ職員を派遣する場合との違いを教えてください。 また、参加者の拡大という点について、訪問という提案がありましたが、より具体的な提案はありますか。 最後に、「教室に通っている高齢者に役割を持ってもらう活動」についてどのように考えているのかお聞きしたいと思います。
事業者A-2	共同事業体として管理運営する場合は、非常事態や法令の改正の際にも、本部がバックアップすることで、適切にフォローアップすることができます。 それらにより、安全・安心の確認・管理をさらによくすることができると考えています。
事業者A-1	利用者の拡大について、認知していただくことが大事だと思っています。 そのための手段として、広報みなどが有効だと思いますが、他には、SNS等で発信することで家族から伝えていただくという認知の方法もあると思っています。 また、利用者からの友人紹介という認知の広がり方があると思います。 利用者により施設だと思っていただければ、口コミで広がっていくという効果が期待できると思います。 そのために、友人に紹介したくなるような施設の運営を心がけていきます。 コロナ禍収束後は、高齢者のご自宅に訪問し、話を聴いていただくという取組を積極的に行いたいと考えています。 次に、自主活動グループの役割等について、いきいき教室をスタートとして、教室の参加者の中から、同様のことをやってみたいという方や適性のある方にお声がけして、自主的に活動できる支援を行っていく予定です。
委員長	他にご質問はありますか。 ないようなので、ヒアリングは以上となります。
事務局	議題2 指定管理者候補者の選考結果について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、2100点満点1585点で、75.5%を獲得しています。 さて、前回の選定委員会で審査した資料のうち様式12「資金・収支計画書（事業計画）」について、新たな提案事業の収支も加算すべきところを加算していなかったことが判明しました。 これは、新たな提案事業は別立てで作成することになっていたため、事業者が全体の資金・収支計画についても別立てにするものと認識し、加算しなかったことによるものです。

	つきましては、様式28で提案のあった「新たな事業提案に関する資金計画」の収支を加算した様式12の資料を再提出させていただきます。 具体的には、今回の指定期間中の各年度の支出合計が初年度は2,900万円、2年目以降は2,700万円程度加算されます。そのため、審査項目7「資金・収支計画及び受託経費」の採点について、委員の皆様にお諮りしたいと思います。 なお、今回の増額分を加算した額は、現在の指定期間に計画された指定管理料とほぼ同額で、現行予算内で執行可能な額です。
委員長	第一次審査の採点について、修正はありますか。 ないようなので、第一次審査結果は変更なしとさせていただきます。 次に各委員から講評をお願いします。
C委員	①いきがいきづくり、学びの場について、ICTの活用をチャレンジ目標としていることや、地域共生によって地域の持続可能性を追求するというコンセプトがよいと思い、16点としました。 ②介護予防、健康づくりの項目について、健康づくりと介護予防の一体的な実施ということ、組織を挙げて取り組もうとしている点を評価し、16点としました。 ③ふれあい、コミュニティ活動については、地域特性の分析がよかったということと、訪問や家族を媒介にして本人に伝えるという情報発信の工夫があったため、16点としました。 ④利用者及び地域住民の安心安全について、共同事業体を組むことで安全性を向上させるという意図が理解できたため、20点としました。 ⑤施設長予定者の考え方について、様々な質問に対して一つひとつ丁寧に答えていたこと、全般をよく把握していたと感じられたことから、15点と評価しました。
D委員	①高齢者のいきがいきづくり、学びの場の項目では、どのように事業を広げていくのかという点について、関係機関との連携等について言及がなく、広報とポスティングのみの提案だったため、低く評価しました。 ②介護予防、健康づくりの項目では、EMSトレーニングをどのくらい効果的に使うのかわかりませんでしたが、ICTやeスポーツを取り入れながら事業を提案していくということの評価し、12点としました。 ③ふれあい、コミュニティ活動についても、ICTを活用しながら人との関係性を広げる取組の提案がよいと思いました。 ④安全・安心の項目について、共同事業体を組むことで、感染症予防・衛生管理を徹底できると思いました。 また、BCPの考え方がしっかりしていると感じました。 ⑤施設長予定者について、それぞれの質問に対して十分に答えていたため、安心して任せられると感じました。
E委員	①高齢者のいきがいきづくり、学びの場という項目では、得意の分野であるフィットネス系の事業は充実していましたが、文化系事業や学びについては、より具体的な施策が必要だと思い、通常レベルと評価しました。 ②介護予防、健康づくりについては、様々なプログラムを取り上げようという意欲は

	感じたため、16点としました。 ⑤責任者候補の考え方では、きちんとしたプレゼンテーションをしており、役割分担が明確で、やる気や積極性を感じられたので12点としました。
F委員	①高齢者のいきがいくりに関しては、啓発や呼び込みにもう少し工夫があればよかったと考え、12点と評価しています。 ②介護予防、健康づくりについては、自主活動グループの情報交換等基本を押さえつつ、さらなる工夫をしようとする姿勢が見られたため、16点としています。 ③ふれあい、コミュニティ活動の場に関しましてはICTに力点を置くなど、課題への対応も意識していたため、16点としました。 ⑤施設長予定者については、意欲があり、安心感のある高齢者対応ができる人材だと感じました。意欲や専門性を評価し、12点としました。
G委員	②介護予防、健康づくりの項目では、自主活動グループへの支援について、相談会の実施という提案だけでなく、他のグループとの情報共有、活動内容の共有の場ということも考えられているという点を評価し、16点としました。 ③ふれあい、コミュニティ活動の場については、情報格差という課題への対策として、ICTの活用や利用支援、事業におけるリモート対応等、ICTを活用した事業のサービス提供を考えているということが確認できたため、16点としました。 ⑤施設長予定者は、受答えがしっかりしていて、意欲も感じる事ができたため、12点としました。
B委員	①高齢者のいきがいくり、学びの場について、麻布地区の地域特性をきちんととらえているという点、スポーツ系や文化系それぞれに応じた教室がある点がよかったと思い、16点と評価しました。 ②介護予防、健康づくりの場について、EMSトレーニングやeスポーツの提案があった点を評価し、16点としています。 ③ふれあい、コミュニティ活動の場という項目で、折り紙の壁画の卒園プレゼント等、複合施設を世代間交流の場としてうまく活用する提案を評価し、16点としました。 ④事業者及び地域の安全・安心という項目は、BCPは定められているものの、高齢者への配慮についてもう少し工夫がほしいと思ったため、15点としました。 ⑤施設長予定者の考え方等については、購買部等経験豊富で、考え方がしっかりしており、意欲が感じられたため、12点と評価しました。
A委員	全体的により提案だったと評価しました。 自主的に来ない高齢者の人たちをどのように呼び込むかという課題に対して、訪問や口コミ、家族への発信という手段で、実際に成果があれば、素晴らしいと思います。ぜひ、実践してみしてほしいという期待を込めて、評価をしました。 また、施設長予定者は、確かに年齢的には高めですが、非常に経験値が高いという意味で、よい人材を採用していると思いました。
委員長	その他、採点内容についてご意見、ご質問はありませんか。 各委員会からの意見を受けて、点数を修正される委員はいらっしゃいますか。

	修正の希望がないようなので、事務局から改めて採点結果の発表をお願いします。
事務局	それでは、改めて採点結果を発表します。事業者Aの合計評価点は、2100点満点中1585点で、得点率は75.5%です。
委員長	それでは、今の点数の発表を受けまして、第二次審査の点数を確定します。 続きまして、第二次審査通過者を決定したいと思いますが、ご意見はありますか。 ないようなので、当委員会として、麻布地区港区立いきいきプラザ指定管理者候補者は、事業者Aと決定します。 それでは、麻布地区の審議は、以上になります。
	3 閉会
委員長	本日の委員会は、以上をもって閉会します。